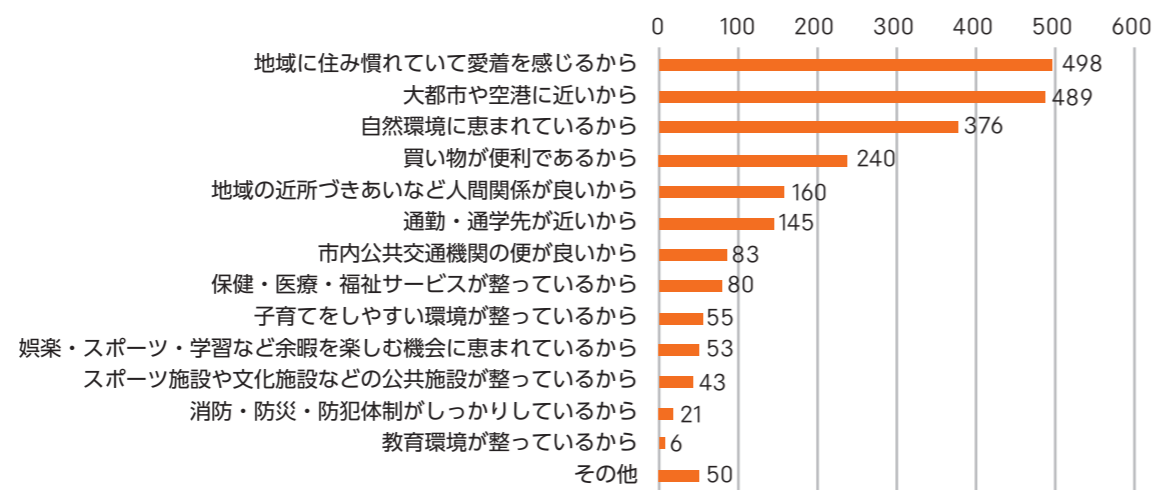
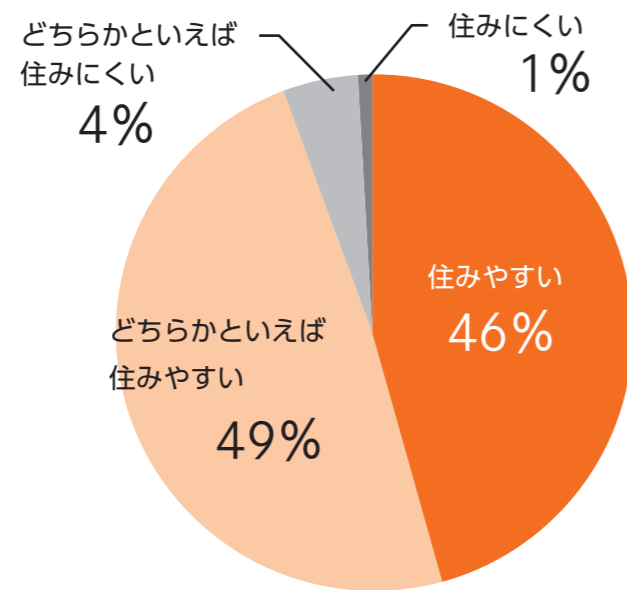


資料編 2 | 社会情勢の変化と恵庭市を取り巻く環境

第1節 | 住み良さについて

平成26年に実施した市民アンケートの結果では、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答された方は合計で95%となり、とても多くの方が恵庭市について「住み良い」と感じていることが分かります。10年後も住み良いまちであるよう、基本構想に基づいてまちづくりに取り組みます。



一方で、これからの時代、人口減少や少子高齢化、これまでに整備されてきた社会インフラの更新など、多くの課題も考えられます。これらについて見てみましょう。

第2節 | 人口将来見通し

総務省統計局によると、日本は2008年(平成20年)に人口減少社会に転じたと言われており、それ以降、人口減少率が漸増し続けています。今後の平成37年までの10年間では、約700万人(現在の人口の約5%)の減少が予測されています。

一方で、高齢化は顕著であり、平成37年には、人口の30%が高齢者になると言われています。

